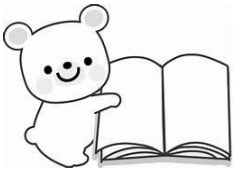
学校図書館だより号外

令和 2 年８月２１日
本 牧 南 小 学 校
学校司書 青木美佳



～本日のおすすめの本㉚～

『注文の多い料理店』

宮沢賢治 作　偕成社（1984年初版）
＊この本は9番の書棚（宮沢賢治コーナー）にあります。（貸出可能）

二人の若い紳士が、イギリスの兵隊さんのようにおしゃれをして、山奥へ狩りをしにやってきます。山の中は、自然豊かな場所。二人の紳士はわくわくして、獲物を鉄砲で打って持ち帰ろうとします。ところが、山の中では人間の力なんて小さなものです。すっかり道に迷い、おなかがペコペコになってしまいます。

すると・・・「西洋料理店　山猫軒」というレストランをみつけます。こんな山の中なのにどうして？と思いますが、おなかがすいていている二人は、そのレストランの扉を開けます。

なんと、そこは「注文の多い料理店」でした。「当軒は注文の多い料理店ですから、どうかそこはご承知ください」という注意書きがありました。二人は大喜び。いろいろな料理をこんな山奥で食べられると思ったのです。

ところが、奥へ奥へと続く扉を開けるたびに、髪をとかしてとか、靴のどろを落としてとか、金属のものをはずしてとか、香水（じつはお酢）を体にふりかけてとか、貼り紙があります。

一番最後の「どうか、からだじゅうに、壺の中の塩をたくさんよくもみこんでください」という貼り紙を読んで、注文をされているのは、実は自分たちの方だということに気がつきます。

さてさて・・・二人はどうなるのでしょうか？
宮沢賢治の有名な童話です。

自分で読むなら3・4年生から。読んでもらうなら1年生から。

宮沢賢治の作品は、6年生の国語の教科書にはじめて出てきます。でも、宮沢賢治の絵本は、1年生から楽しめるものもたくさんあります。今年度は、ミキハウスから出ている宮沢賢治の絵本のシリーズを全巻そろえました。ぜひ、ダイナミックで美しい絵をたのしみながら、宮沢賢治の作品をご家族でも楽しんでください。

雨ニモマケズ・・・という有名な詩もあります。